

現状アセスメントから運用まで 富士通が導くOTセキュリティ強化ロードマップ

生産現場では、生産性・品質の向上や作業員の技術継承などを目的としたスマートファクトリー化が進展しています。しかしながら、生産設備・システムに代表されるOT（Operational Technology）と外部システムを含むITとの連携により、生産現場の資産やネットワークに対するサイバー攻撃の脅威は大きく拡大しています。生産設備の停止リスクへの対処や、従業員の安全性の確保、ビジネスデータの保護をするために、積極的なOT環境へのセキュリティ対策が求められています。

OTセキュリティに対するお客様の状況

セキュリティリスクがあることを認識

スマートファクトリー化に向けて、OT環境においてICT活用を推進。その結果、これまで見ていなかったセキュリティリスクが表面化。

脅威に対して対策開始

例えば、IT/OT間の境界防御など導入しやすいセキュリティ対策を開始。

自社の対策が十分か懸念

世の中の工場におけるセキュリティ被害や対策事例から、現場の対策で十分対処できるのか懸念を感じる。

まずは現状の把握から始めてみませんか？

経済産業省の工場セキュリティガイドラインのチェックリストを活用した簡易診断（無料）で、自社のOTセキュリティ対応状況をチェックしてみましょう。



OTセキュリティ簡易診断

(注) ネットワンパートナーズ株式会社が運営するサイトに移動します。
簡易診断のStep5の画面で「ご紹介企業名」欄に「富士通」とご入力ください。

富士通の提案する工場セキュリティ強化の進め方

現在、OT環境のセキュリティ強化に向けて、工場システムにおけるサイバー・フィジカル・セキュリティ対策ガイドラインなど様々なリファレンスやガイドラインが公開されています。客観的な指標を軸として進めることで、抜け・漏れ・偏りなく、OT環境のセキュリティ対策強化を実施していくことが可能となります。富士通はそうしたリファレンスをベースとしたお客様のセキュリティ強化を支援し、各STEPに対応するためソリューションを準備しております。

STEP1

保護対象の整理

セキュリティ対策においては、「何を守るのか」を明確にすることが重要です。そのために、OT環境の資産やその接続など全体像を把握すべきです。

- 提供ソリューション：
現状把握／リスク分析

STEP2

セキュリティ対策の立案

把握した資産に対して、「どう守るか」の検討を実施します。そのために、資産のウィークポイントを認識し、想定される脅威を把握することが必要です。

- 提供ソリューション：
リスク分析／グランドデザイン策定支援

STEP3-1

セキュリティ対策の実行・評価 (対策の実行)

セキュリティソリューションの導入、ネットワークインテグレーション、工場で使用するセキュリティポリシーの策定など様々な対策を実施し、OT環境のセキュリティを確保します。

- 提供ソリューション：
OTセキュリティ設計・構築支援／
OTセキュリティ可視化／OTエンドポイントセキュリティ

STEP3-2

セキュリティ対策の実行・評価 (維持管理)

対策実行後、サイバー攻撃やその被害につながる傾向が無いかを認識できることが必要です。
対策状況とその効果の確認・評価ができるように、体制を整備し、収集した情報を基に対策の見直しを実施することが重要となります。

- 提供ソリューション：
OTセキュリティ運用支援／OTセキュリティ監視通報

関連情報（提供ソリューション）

- ✓ [リスクを可視化し、工場DXを推進。生産現場の現状から未来のロードマップ策定までサポート](#)
- ✓ [DXを加速させる、安全なOTネットワーク。設計・構築から運用までワンストップで支援](#)
- ✓ [サイバー攻撃から生産現場を守る。早期検知と迅速対応で事業継続を実現](#)

お問い合わせ先

製品・サービスについてのお問い合わせは[コチラ](#)

富士通株式会社 〒211-8588 神奈川県川崎市中原区上小田中4-1-1

